



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

一般社団法人日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため**、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、6月21日に開催した一般社団法人日本原子力学会通常総会において選任されました新会長・副会長の紹介です。

新会長に堀池寛氏（大阪大学大学院教授）が就任



第35代会長 堀池 寛（ほりいけ ひろし）

大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 教授

【略歴】

1978 大阪大学工学研究科原子力工学専攻博士課程単位取得満期退学

1978 日本原子力研究所入所

1993 大阪大学工学部助教授

1996 年より現職

【主な専門】核融合工学、原子炉工学

【会 長 挨 拶】

2011年3月11日に発生した未曾有の原子力事故の影響により、原子力そのものが瀬戸際に立っています。我々原子力専門家の発言について、内輪に閉じた「原子力村」の論理として、社会から一蹴される場面もあります。しかし専門家が傍観し、沈黙したままでは、原子力の危機は乗り越えられず、日本の国力を危うくしてしまうことにも繋がりがねません。

原子力発電は、持続的で安定且つ経済的な代替電源が他にはない現状では、中長期的に必要な基幹電源であり続けるものと判断されます。グローバルな展望で世界最高レベルの原子力安全や開発・利用を果敢に進め、震災被災地の復興とそれらを支える人材育成に取り組みつつ、専門家として、ぶれずに使命感を持って社会に貢献していく覚悟です。

なお、副会長には下記の3名が就任いたしました。

池本 一郎 （一般財団法人電力中央研究所 名誉特別顧問）

上塚 寛 （独立行政法人日本原子力研究開発機構 理事）

藤田 玲子 （株式会社東芝電力システム社電力・社会システム技術開発センター
主席技監）

以 上